



秋先の榊原病院エントランス

この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である
The most important person in this hospital is the patient.

榊原病院におけるてんかん診療について

第一診療部長 福山 孝治

2026年2月から榊原病院に勤務しております福山 孝治（ふくやま こうじ）と申します。私はこれまで三重大学医学部附属病院での精神科診療に加えて、てんかんの診療にも携わってまいりました。

てんかんは、日本でもおよそ100万人が罹患していると推計される疾患であり、薬物療法によって症状が消失する方も多くいらっしゃる一方で、てんかん患者さんは精神疾患を合併しやすい傾向があることも知られています。そのため、てんかん診療において精神科医の関与が必要となるケースが多く存在していますが、残念ながら精神科医の多くがてんかんの診療に積極的に携わっているわけではありません。

また当院では強度行動障害をお持ちの患者さんの診療を行っていますが、てんかんを合併している方も多くいらっしゃいます。抗てんかん発作薬と抗精神病薬のそれぞれの調整を要する場合もあり、薬剤の特徴や相互作用、起こりうる有害事象に配慮して診療を行う必要があります。

これまでのてんかん診療における経験を活かし、地域の病院や関係機関との連携も行いながら、よりよい治療を患者さんにお届けしたいと考えておりますので、何か困りごとがありましたら、当院までお問い合わせください。よろしくお願い申し上げます。



熊本地震へのDPAT隊派遣について

DPAT隊 業務調整員(心理療法士) 高野 真弘

2026年7月28日に発生した熊本地震において、当院から**DPAT隊（医師・看護師・業務調整員の計4名）を派遣しました**。三重県から派遣する第2班の隊として派遣され、8月6日から11日の6日間支援活動に従事しました。実際の活動としては、主に熊本県庁や被害の大きい八代地域での本部活動や現地活動が中心でした。

本部活動では、熊本県担当者や他の都道府県から派遣されたDPAT隊と活動方針を立て、他の医療支援チームとの連携を図りながら、熊本県内で活動するDPAT隊を統括する業務にあたっておりました。

また、現地活動では、避難所生活などの環境変化によって調子を崩す方など医療を直接必要とする被災者に対する支援はもちろん、移動手段をなくしてしまうことで通院・服薬継続が困難になる被災者もあり、生活面への支援を求められる場面にも遭遇し、他の医療支援チームと連携しながら対応しました。

さらに、震災後の時間経過とともに地元の保健師や施設職員など被災地の支援者の疲弊が強くなり、支援者支援も求められました。活動中はメンタルヘルスに関するリーフレットを作成することや避難所などで支援者の相談に応じる、他の医療支援チームと対応策について協議することを通して対応を行いました。

今回の経験も踏まえ、今後当県で発災した場合に備えて平時の備えや訓練を引き続き行っていきたいと考えております。



栄養コラム



9月の旬をいただきます♪

まだまだ暑い日が続いております。そんな中、食の季節は早くも秋を迎えようとしています。今回は9月ごろから旬を迎える食材を紹介します。

魚編 **秋刀魚(サンマ)**
秋の魚の代表格。塩焼きはもちろん、コンフィ(オイル煮)が絶品♪



鯉(カッソ)
秋の鯉は「戻り鯉」といわれ、春の鯉に比べて脂がのっています♪



野菜編 **さつまいも**
あっさりしたものから、ネっとりとした濃厚な味まで幅広い秋の味覚の代表格♪



きのこ類
料理の味をぐっと深くしてくれる食材。煮ても焼いても揚げても絶品♪



果物編 **梨**
シャキッとした食感に、さわやかな香り、芳醇な甘み特徴。品種によるこれらの違いは食べ比べの価値あり♪



栗
秋の訪れを感じる味覚。皮を剥く一手間の先に待つホッとした甘さにはつつい笑みがこぼれる♪



秋は食材のベストシーズン♪
色々な食材を食べてみてください♪



デイ・ケア案内

今月のデイケアプログラムの紹介は「**コグニサイズ**」です。コグニサイズとは、国立長寿医療センターが開発した運動と認知課題を組み合わせたプログラムです。例えば、足踏みをしながらかしを計算するなど、体と頭を同時に使うことで、心身の活性化を図ります。

もともとは、運動によって身体を健康を促すとともに、脳の働きを活発にし、認知症の発症を遅らせることを目的として考案されました。

デイケアでは認知症の予防だけを目的とするのではなく、楽しく体を動かしながら、脳にも良い刺激を与えることを大切にしています。

コグニサイズには「笑ってごまかすこと」もOKという考え方があります。実は、担当するデイケアスタッフも、時々間違えてしまい、笑ってごまかすことがあります。

うまくできることよりも、楽しみながら取り組むことが大切です。難しく考えすぎずに、皆さまと一緒に健康的で楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。

みんなでおムライスを作りました。
上手に巻けました。



9月のデイケアカレンダーは、コスモス、鶏頭、お月見と一気に秋景色になりました。



編集後記

病院マスコットキャラクター「さかきー」



ここところは梅雨の時期のような天気が続いていますが、秋雨前線としての秋の始まりでしょうか。秋といえばスポーツの秋、芸術の秋などありますが、私は専ら食欲の秋のようで、今からでも秋の美味しいものを何を食べようかと考えています。(庶務係長)

独立行政法人国立病院機構榊原病院

〒514-1292 三重県津市榊原町777番地

代表電話

☎ 059-252-0211

FAX 059-252-0411

地域医療連携室

☎ 059-252-0660

FAX 059-252-0280

訪問看護ステーションゆうはあと

☎ 059-252-0122

FAX 059-252-0126

ホームページ <https://sakakibara.hosp.go.jp/>

